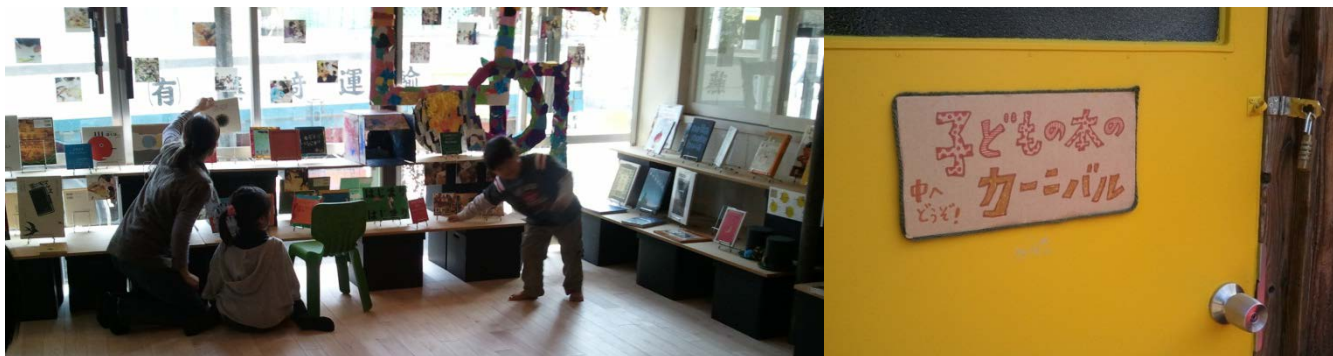


「生の松原 子どもスコーレ」がオープン！



福岡市西区の下山門駅の近く、海と街のちょうど「あいだ」に位置する“生の松原”というステキな場所に、アート、デザイン、身体表現、サイエンス、等のワークショップや、子どもの本と読書の場として、【生の松原子どもスコーレ】が、オープンしました。

「スコーレ＝SCHOLE」とは、「遊び」と「学び」と「余暇」の三つの意味を含む「学校＝SCHOOL」の語源となったギリシャ語です。学校教育と家庭教育の間に、「地域教育」という領域での子どもの居場所づくりを目指していく施設です。

企画・プロデュースは「感動創造研究所」でも何かとお世話になっている、九州大学院特任教授の目黒実氏。運営は卒業生たちが行います。3月10日のオープニングセレモニーに伺いましたので、その模様をレポートします。

施設は、タタミ屋さんだった木造2階建て民家を改修したもので、今後色々なワークショップが展開されます。



1階の板張りの室内で、絵本を読んだり、寝転んだりして遊ぶ子供たち。

外に面して土間スペースがあり、年代物のドイツ製活版印刷機が置かれています。今後の子どもたちの活動レポートを印刷していきます。





2階は畳敷きの和室で、床の間や部屋全体に絵本の展示があり、自由に手に取って読めます。



1階奥には、ちょっと隠れた雰囲気の小部屋があり、子どもたちが何やら楽しげに創っています。



2階の床の間に展示されている絵本たち。



オープニングで「スコアレ」についての夢を語る目黒教授。

はるやすみ 子どもの本の カーニバル

3/24土 → 4/4水

WORKSHOP

- 3/25日 nina ninoのガリガリしんぶんワークショップ
14:00-16:00
対象：小学生10名
- 3/31土 目黒キョウジュの物語スコアレ
13:30-17:30
対象：親子・小中高生・大人のみも可！15名
- 4/1土 nina ninoのうそつきワークショップ
14:00-16:00
対象：小学生15名

上記日程以外の日は、毎日14:00から日替わりミニワークショップを開催します。おたのしみに！

ワークショップのプログラム

この「子どもスコアレ」では、これから詩人、アーティスト、児童文学者、絵本作家、教育研究者、心理学者、遊びと学びの達人、保育者、料理研究家、農業・林業・漁業のプロフェッショナル、工芸家、建築家など、全国のユニークな人々が関わり、子どもたちとの協働による素敵なプログラムが展開される予定です。

生の松原 子どもスコアレ
福岡市西区生の松原1-20-20
info@hact.jp